

入園のしおり



みらいつむぎ検見川浜園

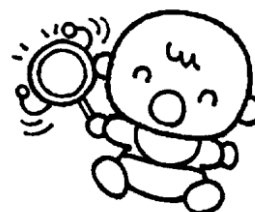
みらいつむぎ保育園

～子どものみらいをつむぐ糸～



* 保育理念 *

にんげん力の向上



* 保育方針 *

自己肯定感を育むことを大切にします。

「自分でする!」「やってみたい!」この意欲を大切にします。

「楽しくてたまらない!」この気持ちを大切にします。

遊び中は邪魔をしない。この集中力を大切にします。

「できた!」この達成感を大切にします。

子どもの秩序感を大切にします。

しっかりと見守り、その子に合った遊び(発達)を提供します。

子どもの行動には全て意味があると捉えます。

保育者は「教える人」ではなく、「援助する人」と考えます。

保育者がゆとりをもって働ける環境作りを目指します。



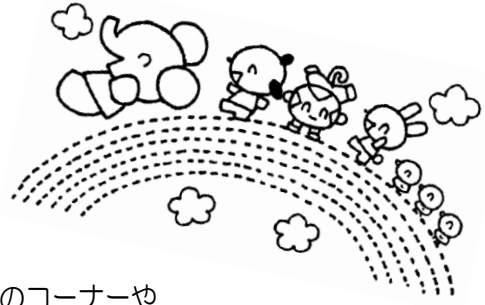
* 保育目標 *

意欲的に遊べる子

いろいろなことに興味を持てる子

心身ともに健康な子

保育のポイント



◎コーナー保育で、お子さまが自由にのびのびと過ごせます。

保育室に、手指遊び・粗大あそび・構成あそび・生活表現あそびのコーナーや絵本を見たり気持ちを休ませる休息のコーナーを作り、子ども達が自由に行き来しながら、主体的にあそべる環境を作ります。コーナー保育を行う事で、子ども達一人ひとりの発達や興味に合わせたあそびが行えるように致します。

◎年齢で分けるのではなく、発達に合わせて考えます。

この時期の子どもは月齢の差で大きく変わります。1歳児だから、2歳児だからと考えるのではなく子ども一人ひとりをしっかりと見つめながら、発達に合わせた保育を行っていきます。また、発達の違う子ども達が一緒に遊ぶ事で、お互いに成長しあう様な環境も大切に考えます。

人数の少ない小規模園のメリットを生かします。

◎保育士の配置について

当園ではベテランから若手まで幅広い保育士を配置する事で、子どものニーズにより応えられる様に致します。また小規模保育園でしかできない手厚い保育を提供すると共に、保護者の方にも日々の子育てで感じた疑問、不安に思っていることなど、登園時や降園時にお気軽にご相談頂けるように致します。

◎ケガについて

子どもに危険が無いよう、保育士は常に子どもから目を離さず、事故が起こらない様に努めてまいります。しかし、子どもからあらゆるものを排除し、全くケガをしないという事が決してよい事ではありません。小さなケガは、危険から身を守る術を身に付ける事につながります。また、自分で立ち直る力も身に付きまます。子どもの学び、生きる力を育むため、登園では「ダメ！」という言葉は使わず、子どもの力を伸ばしていきます。

◎保育の質＝保育士のゆとり

現在、保育士の負担がとても多い事が社会問題として取り上げられています。

その大きな要因として、事務作業の多さがあげられます。事務作業が多い事によって、子どもに目を向けるゆとりが持てない保育園が多くあります。

当園では、保育の質＝保育士のゆとりであると考えており、保育士が子どもに目を向けるゆとりが増えることが、保育の質の向上につながっていきます。そのための事務作業の負担を減らすため、ICTを導入しております。

また2歳児までの園という事もあり、生活リズムを安定させる事に重点を置き、過度の行事、制作を行わず、お子様や保育士に過度の負担がかからない様に致します。日頃の生活やあそびを大切にし、お子様が本当に楽しめる保育園を目指していきます。

◎ICT化について

お休みや、登園・お迎え時間などのご連絡をスマートフォンの操作で簡単に行えるように致します。また、連絡ノート機能でその日の出来事や様子などを、園から保護者の方へお送り致しますので、お迎えの途中でもお迎えの途中でも今日の出来事をご確認頂けます。欠席のご連絡も時間を気にせず送信して頂く事ができます。



持ち物リスト



【常時ロッカーに入れて頂くもの】

おしりふき	1個
おむつ（おむつかご以外に）	5枚
食事用タオル予備	2枚
スタイ（よだれかけ）（必要な方）	3枚
お着替えセット（洋服上下・肌着）	2組
靴下	1足
ループ付きハンドタオル予備	1枚
持ち手付きビニール袋	1束

*持ち手つきビニール袋は、着替えが入る大きさに50枚程度入っている物

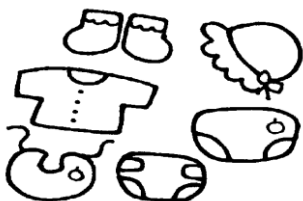
【事前にご用意頂き、園でお預かりするもの】

- ★プラスチック製の食事用エプロン（園で洗浄、消毒致します）
- ★フード無しの散歩用上着（季節に合わせてご用意ください）
- ★哺乳瓶・散歩用帽子（0歳児）
- ★1、2歳児は園指定のカラー帽子にお子さまが分かり易い様マークを付けて下さい。
- ★昼寝用バスタオル
 - ・1、2歳児・・・掛け布団用バスタオル
敷き布団用バスタオル（又はキルティングマット）
*4隅に太いゴムを付けて下さい。
 - ・0歳児・・・・バスタオル2枚
*布団とシーツは園でご用意致します。
- *冬期はブランケットや薄手の毛布をご用意ください。
- *週末に持ち帰って洗濯をし、月曜日にロッカーに入れて下さい。
- *0歳児用布団のシーツは園で洗濯致します。



【衣類の選び方について】

- *フード付きの物やスカートは危険防止のため避けて下さい。
- *着脱のしやすい物を選んでください。（徐々に自分で着脱が出来る様にしていきます）
- *肌着は子どもの体の動きを妨げる場合があります。今後ご購入の際は、厚手の物や、歩けるようになったら股下をボタンで止めるタイプの物は避け、冬でもランニングや半袖のものがよいと思います。

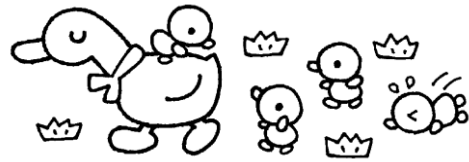


持ち物には全て



大きく記名をお願いします

お 願 い



【登園時】

- ◎タブレットに登園時間を打刻してください。
- ◎お子さまの靴下、上着を所定の場所に入れて下さい（月曜日は帽子・午睡用タオル）
- ◎検温を致しますので終わるまでお待ちください。
- ◎お荷物を所定の場所に入れて下さい。

食事用タオル	3枚	タオルかごに1枚ずつ入れて下さい
おむつ	2枚	おむつかごに1枚ずつ入れて下さい
お着替えセット・おむつ	1組	名前付きゴムで止め、かごに入れて下さい
持ち手付きビニール袋	1枚	フックにかけて下さい
ループ付きハンドタオル	1枚	タオル掛けに掛けて下さい
水筒		中身は、水または麦茶など糖分を含まないもの

【降園時】

- ◎タブレットにお迎え時間を打刻してください。
- ◎ロッカーに不足分が無いかチェックして下さい。
- ◎洗濯物をお持ち帰りください。
ビニール袋に入ったもの・ハンドタオル（週末は帽子・お昼寝用タオル）
- ◎予定していた方以外の方がお迎えにいらっしゃる場合は必ずご連絡をください。
ご連絡が無い場合は、防犯上お子さまを引き渡す事が出来ません。ご協力下さいます様、
よろしくお願い致します。（お迎えはお写真をお預かりした方に限りませ）

【遅刻・欠席について】

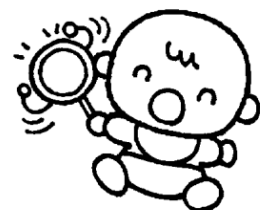
9時までにご連絡をください。連絡帳ノート機能を利用し送信して頂いて構いません。

【土曜日保育の利用について】*延長保育はございません（18:00まで開園）

土曜日の給食はありません。（※「土曜日のお弁当・おやつについて」を参考にして下さい。）
また、利用申し込みに関しては2週間前に締め切らせて頂きますので、ご協力頂きます様
お願い致します。急なお申し込みは出来ませんのでご注意ください。

【アレルギーがあるお子さま】

医師の診断書が必要です。
アレルギー食材を除いた給食やおやつを提供いたします。
変更があった時は必ずお知らせください。



【流行性の疾患について】

疑いがある場合は受診をお願い致します。

疾患によって、登園許可証明書が必要です。

登園許可証明書は保育園 HP よりダウンロードできます。

★登園許可証明書（医師が記入するもの）が必要な疾患

麻疹（はしか）・風疹・水痘（水ぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・結核・咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）・百日咳

腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）急性出血性結膜炎

侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）・その他の感染性疾患（医師の意見を聞き集団発症や流行を防ぐ必要があると判断した感染症）

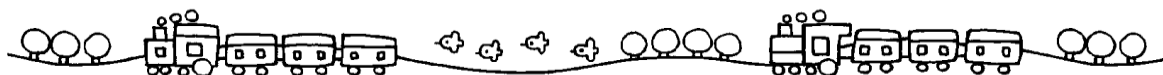
【延長保育について】

利用される方はお子さまのおやつをご用意ください。（小さなせんべいやビスケットを1～2枚など）常温での管理となりますので、冷蔵の必要な物はお預かりできません。

【慣らし保育について】

入園当初のストレスと SIDS（乳幼児突然死症候群）の因果関係もあり、お子さまの精神的・身体的な負担を軽減するためにも、慣らし保育を行っていきます。以下の予定を基本にお子さまの様子を見ながら進めてまいります。

月	日	曜	時間	内容	持ち物
4	1	水	8:30~9:30	様子を見る	提出物~延長保育申込書・土曜利用申込書 お着替えセット 1組・おむつ 5枚
	2	木			
	3	金	8:30~10:30	午前おやつ まで	お着替えセット 1組・おむつ 5枚 ループ付きハンドタオル 食事用エプロン・タオル
	6	月			
	7	火			
	8	水	8:30~11:45	給食まで	持ち物リストに記載のものを この日までに揃えて下さい。
	9	木			
	10	金	8:30~15:00 *10日は15:00より保護者会	午睡後まで	
	13	月			
	14	火			



《土曜日のお弁当・おやつについて》

土曜日は、離乳食のお子さん以外は給食がありませんので、お弁当を持参していただきます。お弁当は一日の食事の中で大切な一食です。下記のことには注意して、彩りよくおいしいお弁当を持たせてあげてください。

★お弁当

- 1 生物は避け、朝必ず一度火を通して冷ましたものを入れましょう。
(ごはんもしっかりと冷まさないと、他のおかず水滴が落ちて傷む原因になります)
- 2 混ぜごはん・チャーハンなどの味付けごはんは傷みやすいので避けましょう。
- 3 おかずをお弁当に詰めるときは、しっかりと水気をきりましょう。水分の出そうなものや、味付けの違うものは、ホイルやアルミカップなどで仕切りをしましょう。
- 4 ハムやちくわ・かまぼこ等の練り製品にも十分に火を通して使用し、なるべく夏場は避けるようにしましょう。
- 5 マヨネーズで和えたものは傷みやすいので避けましょう。
- 6 フルーツを持ってくるときは別の容器に入れるようにしましょう。



★おやつ

おやつは乾いた菓子(せんべい・ビスケットなど)を組み合わせて持たせて下さい。袋ごとのものや、ビニールに入れたものではなく、専用の容器(タッパなど)に適量を入れるようにしてください。

おやつの目安

- ・クッキー2枚(20g) + せんべい2枚(20g)
- ・パン1個(50g) + せんべい1枚(10g)
- ・ドーナツ1個(30g) + プチゼリー1個(13g) + せんべい1枚(10g)
- ・クラッカー4枚(10g) + クッキー2枚(20g) + プチゼリー1個(13g)



×避けていただきたいもの

- ・要冷蔵のゼリー・乳製品、フルーツ(冷蔵保存できないため)
- ・チョコレート・あめ・キャラメル・クリームがはさまっているクッキーなど
(糖分が高く、溶けやすく、歯につきやすいため)
- ・こんにゃくゼリー(のどに詰まる恐れがあるため)



※ 朝食は一日の活動源です。必ず食べてから登所しましょう。

※ 食事についてお困りの事がありましたら、ご相談下さい。